

# 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事（機械設備工事）

令和8年3月

佐藤総合計画・蟻塚設計共同体

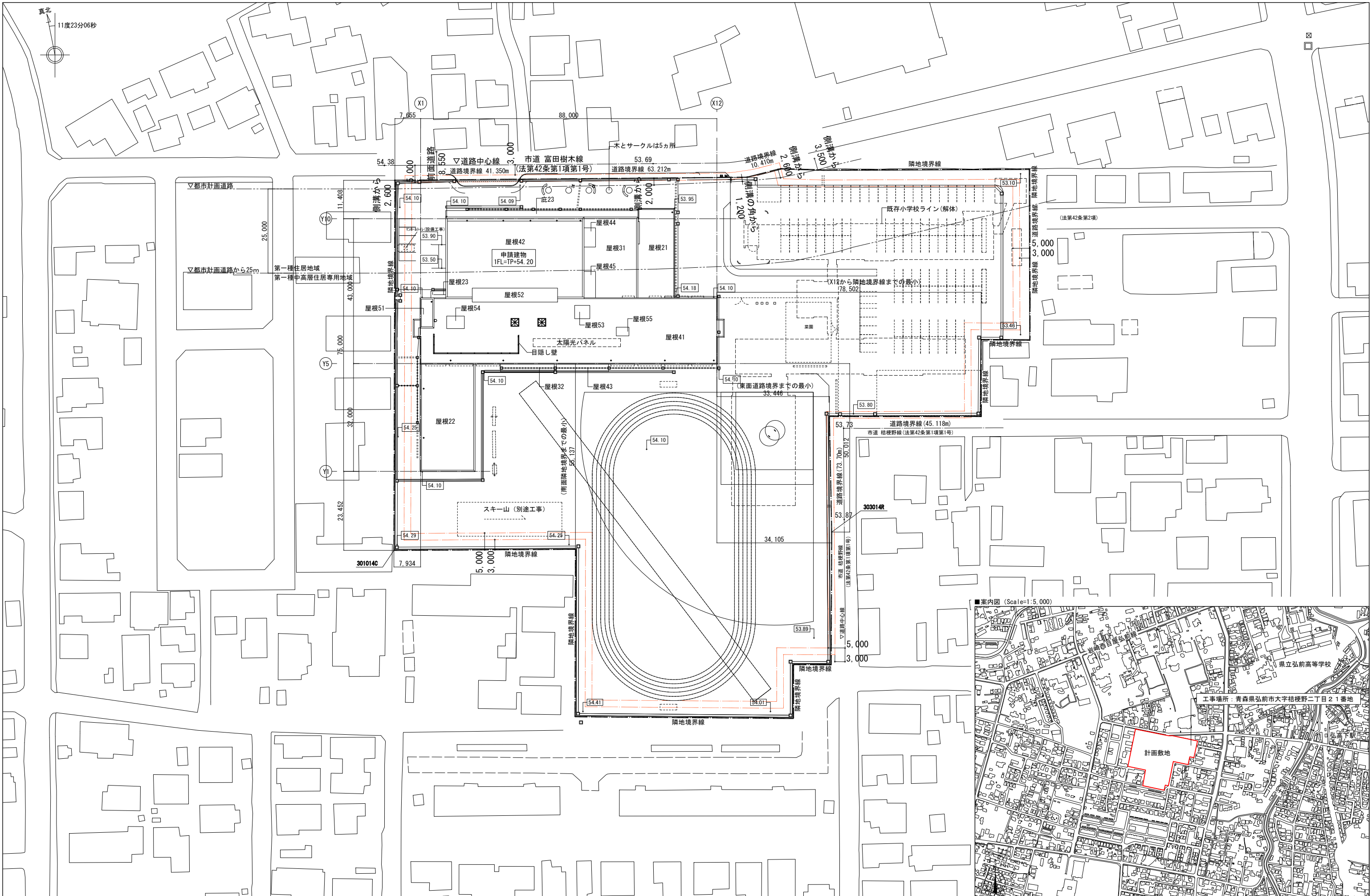
図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)	図面番号	図面名称	縮尺(A3)
M-001	特記仕様書(1)	N.S.	M-101	空調和設備 機器表(1)	N.S.	M-301	自動制御設備 システム構成図	N.S.	M-423	給排水衛生設備 マンホールトイレ参考図(1)	1/80
M-002	特記仕様書(2)	N.S.	M-102	空調和設備 機器表(2)	N.S.	M-302	自動制御設備 システム機能概要	N.S.	M-424	給排水衛生設備 マンホールトイレ参考図(2)	1/40
M-003	工事区分表	N.S.	M-103	空調和設備 機器表(3)	N.S.	M-303	自動制御設備 幹線系統図・参考回路図	N.S.			
M-004	全体配置図・案内図(参考図)	1/1000	M-104	空調和設備 機器表(4)	N.S.	M-304	自動制御設備 管理点表(1)	N.S.			
M-005	ピット階平面図(参考図)	1/300	M-105	空調和設備 制気口リスト	N.S.	M-305	自動制御設備 管理点表(2)・計装図(1)	N.S.			
M-006	1階平面図(参考図)	1/300	M-106	空調和設備 ダクト系統図	N.S.	M-306	自動制御設備 計装図(2)	N.S.			
M-007	2階平面図(参考図)	1/300	M-107	空調和設備 1階ダクト平面図(1)	1/200	M-307	自動制御設備 計装図(3)	N.S.			
M-008	3階平面図(参考図)	1/300	M-108	空調和設備 1階ダクト平面図(2)	1/200	M-308	自動制御設備 ピット階平面図(1)	1/200			
M-009	PH階・R階平面図(参考図)	1/300	M-109	空調和設備 2階ダクト平面図(1)	1/200	M-309	自動制御設備 ピット階平面図(2)	1/200			
M-010	立面図(1)(参考図)	1/300	M-110	空調和設備 3階ダクト平面図(1)	1/200	M-310	自動制御設備 1階平面図(1)	1/200			
M-011	立面図(2)(参考図)	1/300	M-111	空調和設備 2・3階ダクト平面図(2)	1/200	M-311	自動制御設備 1階平面図(2)	1/200			
M-012	断面図(1)(参考図)	1/300	M-112	空調和設備 クールピット平面図	1/200	M-312	自動制御設備 2階平面図(1)	1/200			
M-013	断面図(2)(参考図)	1/300	M-113	空調和設備 配管系統図	N.S.	M-313	自動制御設備 3階平面図(1)	1/200			
M-014	用途区分図(参考図)	1/600	M-114	空調和設備 ピット階配管平面図(1)	1/200	M-314	自動制御設備 2・3階平面図(2)	1/200			
			M-115	空調和設備 ピット階配管平面図(2)	1/200	M-315	自動制御設備 屋上階平面図	1/200			
			M-116	空調和設備 1階配管平面図(1)	1/200						
			M-117	空調和設備 1階配管平面図(2)	1/200						
			M-118	空調和設備 2階配管平面図(1)	1/200	M-401	給排水衛生設備 機器表	N.S.			
			M-119	空調和設備 3階配管平面図(1)	1/200	M-402	給排水衛生設備 器具表	N.S.			
			M-120	空調和設備 2・3階配管平面図(2)	1/200	M-403	給排水衛生設備 系統図	N.S.			
			M-121	空調和設備 屋上階配管平面図・架台参考図	1/200	M-404	給排水衛生設備 外構図	1/500			
			M-122	空調和設備 配管詳細図	1/100	M-405	給排水衛生設備 ピット階平面図(1)	1/200			
			M-123	空調和設備 放射パネル外形図・機器表(参考図)	1/20	M-406	給排水衛生設備 ピット階平面図(2)	1/200			
						M-407	給排水衛生設備 1階平面図(1)	1/200			
						M-408	給排水衛生設備 1階平面図(2)	1/200			
			M-201	融雪設備 平面図・機器表・系統図	1/200	M-409	給排水衛生設備 2階平面図(1)	1/200			
			M-202	融雪設備 詳細図	N.S.	M-410	給排水衛生設備 2階平面図(2)	1/200			
						M-411	給排水衛生設備 3階平面図(1)	1/200			
						M-412	給排水衛生設備 3階、屋上階平面図(2)	1/200			
						M-413	給排水衛生設備 屋上階平面図(1)	1/200			
						M-414	給排水衛生設備 詳細図(1)	1/100			
						M-415	給排水衛生設備 詳細図(2)	1/100			
						M-416	給排水衛生設備 詳細図(3)	1/100			
						M-417	給排水衛生設備 詳細図(4)	1/100			
						M-418	給排水衛生設備 詳細図(5)	1/100			
						M-419	給排水衛生設備 詳細図(6)	1/100			
						M-420	給排水衛生設備 詳細図(7)	1/100			
						M-421	給排水衛生設備 詳細図(8)	1/100			
						M-422	給排水衛生設備 受水槽参考図	1/60			

凡例	工事名称	令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号	04732-010	登録番号	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号		図面番号	M-000
	図面名	図面リスト	作成日	2026.03	設計	一級建築士第289280号 前見 文武	監理担当	一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学	
	製図者	佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	製図	N.S.(A1) N.S.(A3)	構造担当	一級建築士第329100号 藤池 恒	設備担当	一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士第4808号	

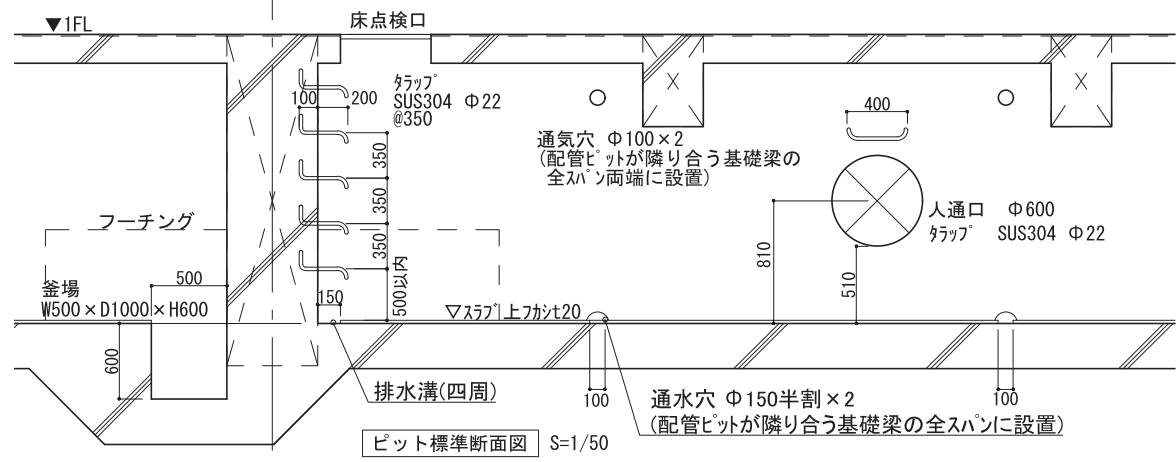
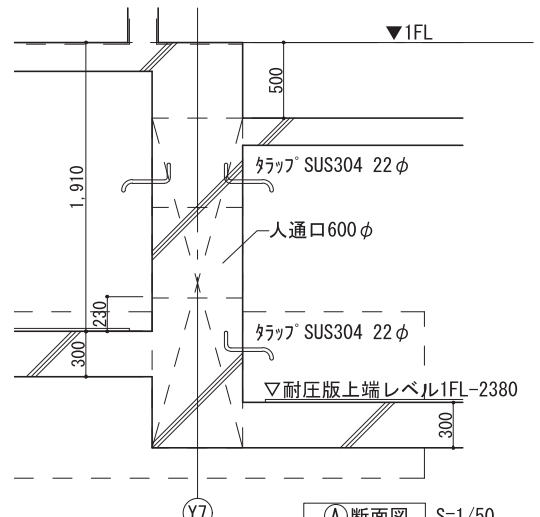
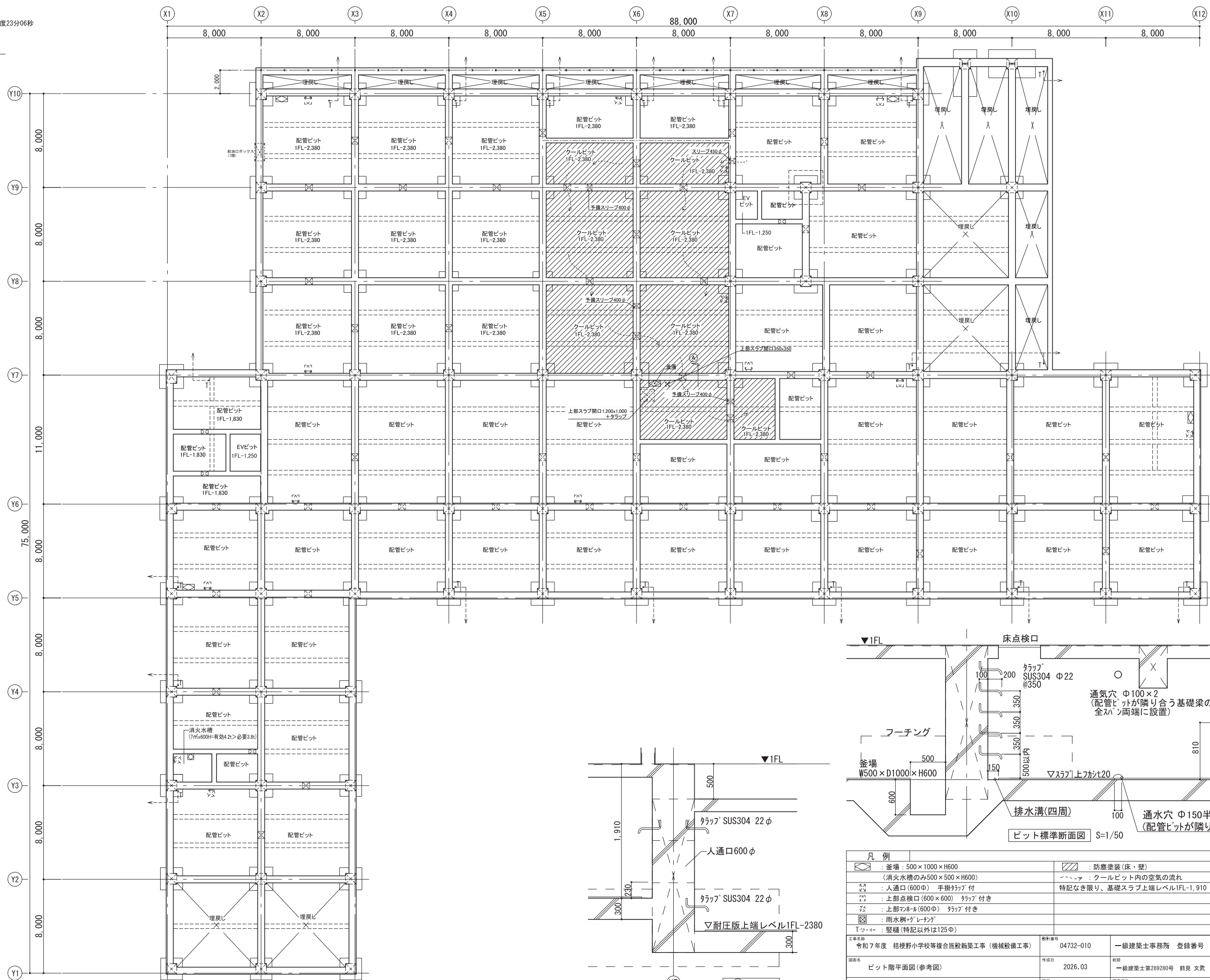


給水設備	●1. 量水器	●親メーター (※貸与品 ○買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式)) ○子メーター (○貸与品 ※買取り) (○現地表示式(直読式) ○遠隔表示式(○電文式 ○パルス式))	厨房機器設備	○1. 熱調理器の熱源	既設 ○ガス ○電気 改設 ○ガス ○電気	雨水利用設備	○1. システム構成その他	別図による。	浄化槽設備	○1. 特記事項	※果が別に定める仕様書による。 ○下記による。 (1)処理能力 対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上 (2)流入負荷 汚水量 m <sup>3</sup> /日 BOD濃度 mg/L (3)処理方式 ○小規模合併処理 (告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大臣認定) ○合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式) (4)主要構造 ○ユニット形(FRP製) ○現場施工形 設置スペース 約 L x W (5)総電気容量 相 x V x kW (6)ばっ気槽用送風機 イ)屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎の上に設置する。 ロ)送風機にはケーブル(ビニルキャブタイプ/ケーブル)を約 m付属する。 ハ)送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。 (7)流入側 イ)流入管底 設計GLー m ロ)浄化槽本体への自然流下方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) (8)放流側 イ)浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GLー m ロ)浄化槽本体よりの自然放流方式(必要な場合はポンプアップ方式とする) (9)排気管及び排気かさ 構造上不要な場合は設けない。 (10)ポンプ 流入用並びに放流用ポンプは各々2台設置し、自動交互異常時同時運転とする。 (11)制御盤 ○製造者標準品 ○標準仕様書による (○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける) (12)マンホール ○製造者標準品安全荷重(○5 ○15 ○50kN 以上とする) ○「標準図」マンホールふた(OMHB OMHA OMHD) (13)装置耐荷重 耐荷重はマンホール安全荷重による。 (14)土工事 イ)基礎杭 ○要(○本工事 ○別途) ○不要 ロ)基礎コンクリート ○要(○本工事 ○別途) ○不要 ハ)根切り ○本工事 ○別途 ニ)埋戻し ○本工事 ○別途 ホ)躯体(現場施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ)山留め ○要(○本工事 ○別途) ○不要 ト)水替え(自然水位GLー m) ○要(○本工事 ○別途) ○不要 チ)残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し (15)消毒剤 30日分を納入する。 (16)水質表示等の提出 一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 (17)フローシート 合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は彫り込み)を取り付ける。 (18)消泡装置 ノズル式又は消泡剤式とする。
	●2. 量水器機	イ)親メーター用 ●水道事業者指定品 ○「標準図」量水器機 ロ)子メーター用 ○水道事業者指定品 ○「標準図」量水器機		○2. 厨房機器類	イ)仕様・性能等は図示による。機器の寸法は概略寸法とする。 ロ)厨房機器据付け要領は「標準図」厨房機器据付け要領による。 ※ ドライシステム ○ ウェットシステム ○ セミドライシステム		○3. 厨房システム				○2. 量水器
●3. 弁類	イ)水道直結部分 ※10K ロ)その他の部分 ※5K、10K ハ)呼び径65A以上の弁は、バタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。		○3. 付属制御盤	機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。 JISB2011:2003又はJV同等性能品 ○5K ※10K		○3. 弁類	図面に特記なき場合は、JIS又はJVBKとする。				
○4. 不凍水栓柱	※化粧ケーシング(※アルミニウム合金製 ○合成樹脂製) ○伸縮式		○4. 付属制御盤								
●5. 給水栓	イ)屋内(○一般水栓 ●耐寒水栓) 屋外(●耐寒水栓 ○一般水栓) ロ)湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。耐寒水栓はJWWAの認証とする。										
●6. 保温	イ)屋外露出管(井、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 e2・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ロ)量水器機内の保温※行う ●行わない										
●7. 小形給水ポンプユニット	(1)自動交互並列運転とする。 (2)24時間強制ローテーション機能: ※付加する ○付加しない										
●8. 水槽	(1)ステンレス(溶接)製タンクのタンク天板(点検用蓋を含む) ※ 複合板 ○複合板としない (2)タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 (3)吐水配管(受水槽)の給水用緊急遮断弁 ※ 設けない ●設ける										
○9. 壁埋込形散水栓ボックス	SUS製とし、鍵付とする。										
●10. 引込納付金等	●要 (○本工事 ※別途) ○不要										
●11. その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。										
排水設備	●1. 満水試験継手	図示の位置に取り付ける。	浄化槽設備	○1. 特記事項							
	●2. 台所流し等の排水管	台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管(RF-VP)でもよい。									
●3. インパート機	※ 樹脂製機(小口径機) ● コンクリート製機: ● 国土交通省仕様機 ○ 頂部補強を施した市販重ね機 ○ 日本下水道協会規格機										
●4. ため機	● 樹脂製機 ※ コンクリート製機: ○ 国土交通省仕様機 ○ 頂部補強を施した市販重ね機 ○ 日本下水道協会規格機										
●5. 樹脂製機	樹脂製機(小口径機)は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。										
○6. 雨水機	雨排水用ため機は、配管エルボによるトラップ機とする。										
○7. グリス阻集器	(1)工場製作品で実用量が1.0m <sup>3</sup> 以下のもの ※ ステンレス鋼板製 ○ FRP製 (2)設置箇所は図示による。										
●8. 間接排水	次のものは間接排水とする。 ● 受水槽排水・水抜きドレン ● 消火ポンプ排水 ● 空調ドレン(壁放射パネル、床置機器)										
●9. 試験	(1)排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。 (2)煙試験: ※ 行わない ○ 行う										
●10. 放流納付金等	○要 (○本工事 ※別途) ●不要										
○11. その他	工場製作の流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管(硬質塩化ビニル管でもよい)とし、本工事とする。										
給湯設備	●1. 弁類	給水設備の当該事項による。	浄化槽設備	○1. 特記事項							
	●2. 保温	湯沸器の給排気筒(二重管)のいんべい部保温を行う。 (保温の種類は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5のハ(イ)・区とする)									
○3. 貯湯槽	ステンレス鋼板製 ○ SUS304 ○ SUS304L ○ SUS316 ○ SUS316L ○ SUS444										
●4. 貯湯式電気温水器	(1)週間タイマー: ※ 取付ける ○ 取付けない (2)制御盤の節電機能: ○ 組み込む ● 組み込まない										
●5. 湯水混合栓	逆止弁機能: ※ 有り ○ 無し ※ シングルレバー式 ○ サーモスタット式 ○ バルブ式										
消火設備	●1. 屋内消火栓種別	○1号消火栓 ○易操作性1号消火栓 ○2号消火栓 ●広範囲型2号消火栓(湿式)	浄化槽設備	○1. 特記事項							
	●2. 屋内消火栓開閉弁	※10K									
○3. 地中埋設配管の接合	外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。										
●4. 保温	イ)充水タンクの保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 鋼板製タンクの項による。 ロ)消火配管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。 ハ)屋外露出管については給水管に準ずる。										
○5. 不活性ガス消火設備	別図による。										
○6. 泡消火設備	別図による。										
○7. 屋外消火栓ボックス	○ ステンレス製 ○ 鋼板製										
○8. その他	(1)連結送水管に取付ける弁は16Kとする。 (2)その他の弁: ※ JIS10K ○ JIS20K										
ガス設備	●1. 親メーター	○実測式 ○パルス式 ●貸与品	浄化槽設備	○1. 特記事項							
	○2. 子メーター	○実測式 ○パルス式 ○買取り									
○3. ガスボンベ	貸与品 (○50kg ○本) イ)集合装置 ○「標準図」液化石油ガス容器廻り配管要領による ○本立て ロ)転倒防止等 ○「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領 (○(a) ○(b)) ○容器固定具をGL+300に追加設置する。										
●4. ガス漏れ警報器	○本工事(図示の箇所に取り付ける)(○分離形 ○一体形) ●別途工事 外部出力端子(○有 ○無)										
●5. 埋設深さ	イ)一般敷地内(0.3m以上) ロ)敷地内車両通行部分(0.6m以上)										
●6. 緊急遮断弁	※ 取付けない ○ 取付ける(ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による)										
適用	配管種別	新設配管材料									
○ 冷温水管	※ ○	配管用炭素鋼管(白)									
○ 膨張管	※ ○	配管用炭素鋼管(白)									
○ 空気抜き管	※ ○	配管用炭素鋼管(白)									
○ 冷却水管	※ ○	配管用炭素鋼管(白)									
○ 蒸気給気管	※ ○	配管用炭素鋼管(黒)									
○ 蒸気遠管	※ ○	圧力配管用炭素鋼管(STPG370(黒管Sch40))									
○ 油管	※ ○	配管用炭素鋼管(黒) (地中配管)ポリエチレン被覆鋼管									
○ 油通気管	※ ○	配管用炭素鋼管(黒) (地中配管)ポリエチレン被覆鋼管									
○ プライン管	※ ○	配管用炭素鋼管(黒)									
○ 冷媒管	※ ○	冷媒用断熱材被覆鋼管									
○ 空調用排水管	※ ○	配管用炭素鋼管(白) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)									
○ 給水管	※ ○	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(○PB ○PD) 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(○VB ○VD) ステンレス鋼管 (屋外地中配管)水道用ポリエチレン工層管 (屋外地中配管)水道配水用ポリエチレン管									
○ 給湯管	※ ○	ステンレス鋼管									
○ 消火栓管	※ ○	配管用炭素鋼管(白) (地中配管)外面被覆鋼管(VS)									
○ 連結送水管	※ ○	圧力配管用炭素鋼管(STPG370(白Sch40)) (地中配管)外面被覆鋼管(VS)									
○ 汚水排水管	※ ○	耐火二層管 (○天井内、バグシャフト内及び空隙壁中 ○ ) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (※最下階の床下・ビット内 ○ ) ○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (※露出配管 ○ ) ※ リサイクルポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (※最下階の床下・ビット内 ○ )									
○ 雑排水管	※ ○	耐火二層管 (○天井内、バグシャフト内及び空隙壁中 ○ ) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) (※最下階の床下・ビット内 ○ ) ○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (※露出配管 ○ ) ○ 配管用炭素鋼管(白) ※ リサイクルポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) (※最下階の床下・ビット内 ○ )									
○ 排水通気管	※ ○	配管用炭素鋼管(白) 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)									
○ 屋外排水管	※ ○	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(※ VU ○ VP) ○ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU)									
○ ガス管	※ ○	配管用炭素鋼管(白) (地中配管)ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ○ (地中配管)ガス用ポリエチレン管									
○ 液化石油ガス管	※ ○	配管用炭素鋼管(白) ○ (地中配管)ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ○ (地中配管)ガス用ポリエチレン管									
○	○										
工率名称	設計番号	登録番号	国庫番号								
令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	04732-010	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	M-002								
図面名	作成日	総括	専任担当								
特記仕様書(2)	2026.03	一級建築士第289280号 前見 文武	一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学								
佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	総括	N.S.(A1) N.S.(A3)	専任担当 一級建築士第329100号 蓮池 恒 構造設計一級建築士 第8796号	専任担当 一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士 第4808号							



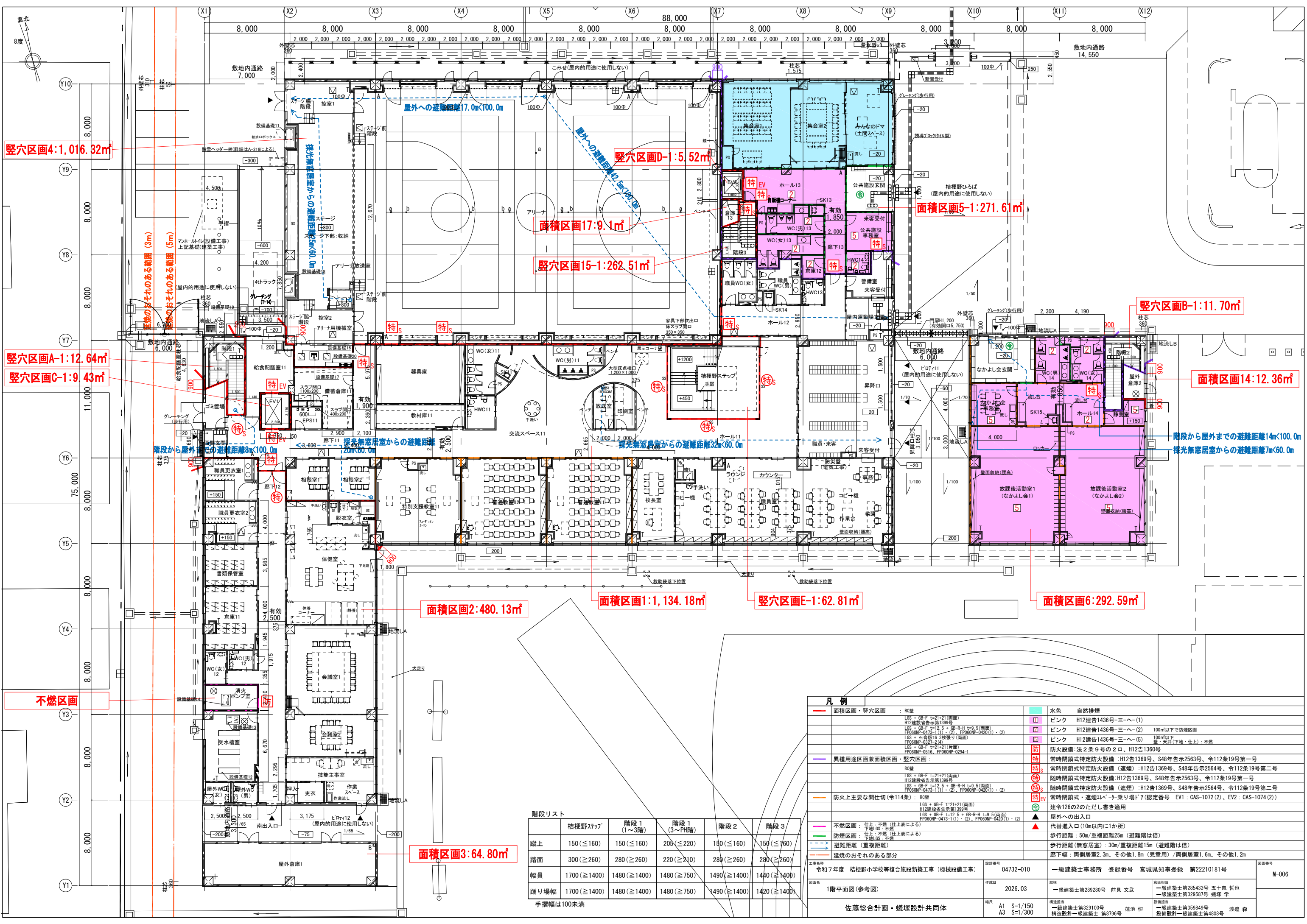


凡例	KBM=54.34 (KBMは令和6年度桔梗野小学校測量業務成果による)		工率名称		設計番号		設計事務所		登録番号		宮城県知事登録		第2210181号		M-004		
	1FL=TP+54.20 (=平均地盤面+100) ※平均地盤面=TP+54.10		令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事 (機械設備工事)		04732-010		一級建築士事務所		登録番号		宮城県知事登録		第2210181号				
○●●○ : 外構仕上レベル		●●●● : 外構仕上レベル		図面名		作成日		一級建築士第289280号		前見 文武		一級建築士第285433号		五十嵐 哲也			
●●●● : 道路中心高さ		●●●● : 道路中心高さ		全体配置図・案内図 (参考図)		2026.03		一級建築士第329587号		蟻塚 学		一級建築士第329587号		蟻塚 学			
--- : 敷地境界線		--- : 敷地境界線		佐藤総合計画・蟻塚設計共同体		縮尺		1/500 (A1)		一級建築士第329100号		一級建築士第359849号		一級建築士第359849号			
--- : 延焼のおそれのある部分		--- : 延焼のおそれのある部分				縮尺		1/1000 (A3)		構造設計一級建築士 第8796号		澤池 恒		設備設計一級建築士 第4808号		渡邊 森	



凡例	
	: 釜場: 500×1000×H600
	: 防塵塗装(床・壁)
	: 消火水槽のみ500×500×H600
	: 人入口(600φ) 手掛トラップ付
	: 上部点検口(600×600) トラップ付き
	: 上部マンホール(600φ) トラップ付き
	: 雨水枘+グレーチング
	: 堅縫(特記以外は125φ)
	: 空気の流れ
	: クールピット内の空気の流れ
特記なき限り、基礎スラブ上端レベル1FL-1,910	

工事名称 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号 04732-010	登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	図面番号 M-005
図面名称 ピット階平面図(参考図)	作成日 2026.03	設計者 一級建築士事務所 前見 文武	監理者 一級建築士第285433号 五十嵐 哲也
設計者 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	規模 A1 S=1/150 A3 S=1/300	監理者 一級建築士第329100号 蓮池 恒	監理者 一級建築士第359849号 渡邊 森



堅穴区画4:1,016.32㎡

堅穴区画D-1:5.52㎡

面積区画5-1:271.61㎡

面積区画17:9.1㎡

堅穴区画15-1:262.51㎡

堅穴区画B-1:11.70㎡

堅穴区画A-1:12.64㎡

堅穴区画C-1:9.43㎡

面積区画14:12.36㎡

面積区画2:480.13㎡

面積区画1:1,134.18㎡

堅穴区画E-1:62.81㎡

面積区画6:292.59㎡

不燃区画

面積区画3:64.80㎡

階段リスト

	階段1 (1~3階)	階段1 (3~4階)	階段2	階段3
蹴上	150(≦160)	205(≦220)	150(≦160)	150(≦160)
踏面	300(≧260)	280(≧260)	280(≧260)	280(≧260)
幅員	1700(≧1400)	1480(≧1400)	1480(≧750)	1490(≧1400)
踊り幅	1700(≧1400)	1480(≧1400)	1480(≧750)	1490(≧1400)

手摺幅は100未満

**凡例**

面積区画・堅穴区画	RC壁	水色	自然排煙
異種用途区画兼面積区画・堅穴区画	RC壁	ピンク	H12建告1436号三へ(1)
防火上主要な間仕切(切114条)	RC壁	ピンク	H12建告1436号三へ(2) 100㎡以下で防煙区画
不燃区画	柱上・不燃(柱上表による)	ピンク	H12建告1436号三へ(5) 100㎡以下で防煙区画
防煙区画	柱上・不燃(柱上表による)	防	防火設備:法2条9号の2口、H12告1360号
避難距離(重複距離)	柱上・不燃	特	常時閉鎖式特定防火設備:H12告1369号、S48年告示2563号、令112条19号第一号
延焼のおそれのある部分	柱上・不燃	特	常時閉鎖式特定防火設備(遮煙):H12告1369号、S48年告示2564号、令112条19号第二号
		特	随時閉鎖式特定防火設備:H12告1369号、S48年告示2563号、令112条19号第一号
		特	随時閉鎖式特定防火設備(遮煙):H12告1369号、S48年告示2564号、令112条19号第二号
		特	常時閉鎖式・遮煙レベ-カ乗り場7(認定番号 EV1: CAS-1072(2)、EV2: CAS-1074(2))
		特	建令126の2のただし書き適用
		▲	屋外への出入口
		▲	代替出入口(10m以内に1か所)
		▲	歩行距離:50m/重複距離25m(避難階は倍)
		▲	歩行距離(無窓居室):30m/重複距離15m(避難階は倍)
		▲	廊下幅:両側居室2.3m、その他1.8m(児童用)/両側居室1.6m、その他1.2m

工事名称: 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)

設計番号: 04732-010

図面名: 1階平面図(参考図)

作成日: 2026.03

設計者: 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体

設計者: 一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号

設計者: 一級建築士第289280号 前見 文武

設計者: 一級建築士第285433号 五十嵐 哲也

設計者: 一級建築士第329587号 蟻塚 孝

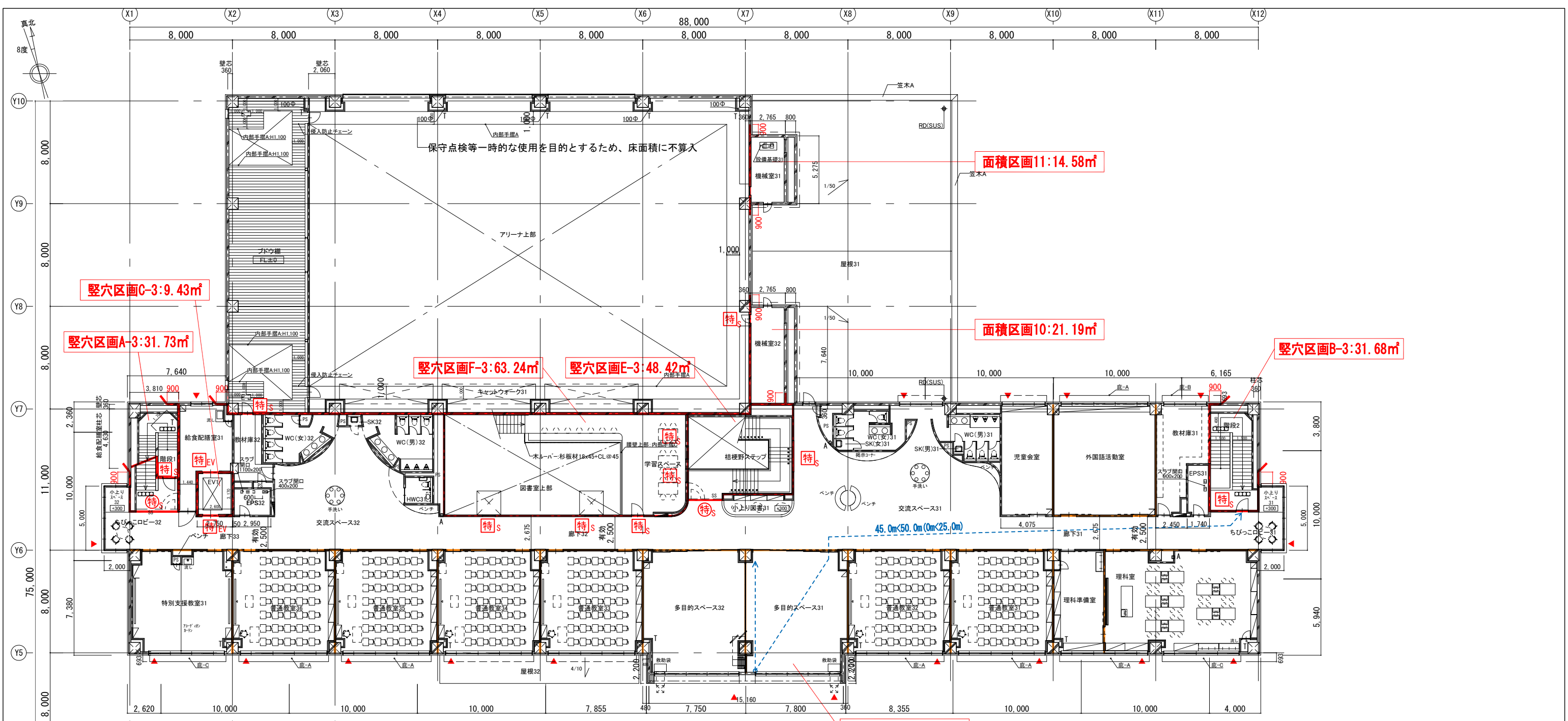
設計者: 一級建築士第329100号 瀧池 恒

設計者: 一級建築士第359849号 渡邊 森

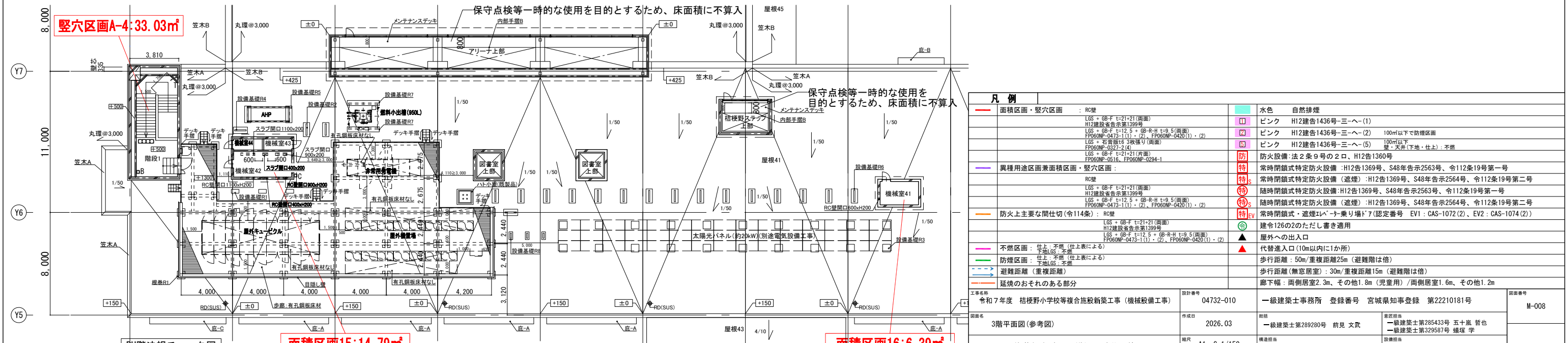
設計者: 設備設計一級建築士 第4808号

図面番号: M-006





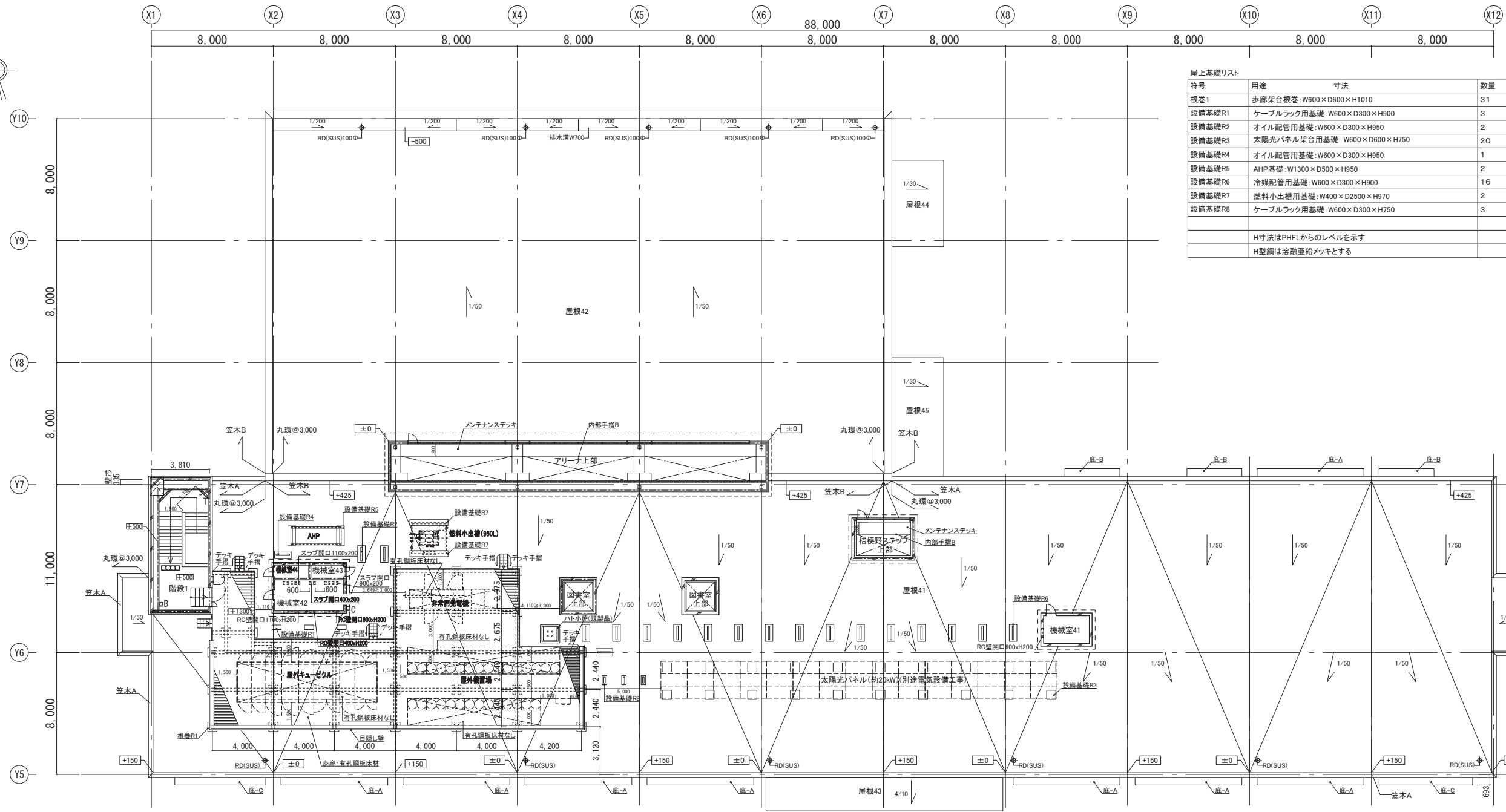
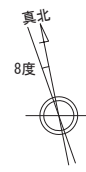
3階法規チェック図



PH階法規チェック図

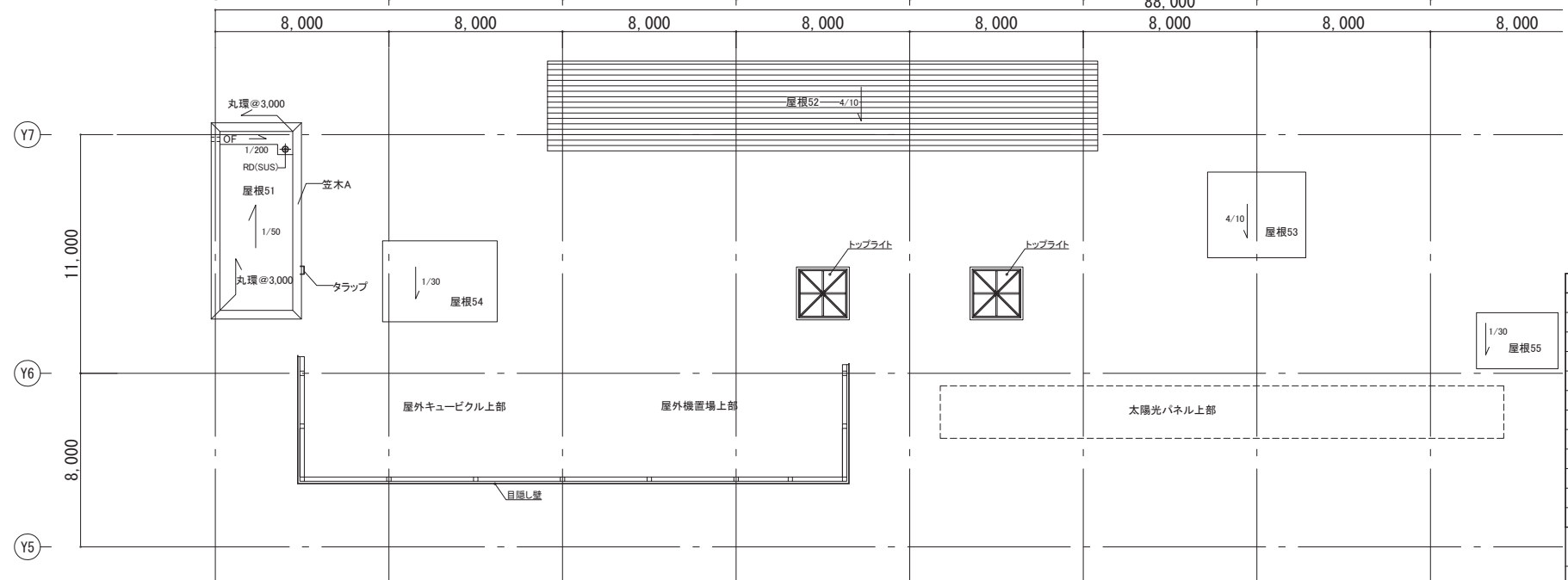
凡例		色	
面積区画・縦穴区画	RC壁	水色	自然排煙
LSG + 68-F t=21(21) (両面) H12建築基準法第1399号 LSG + 68-F t=12.5 + (68-R-H t=9.5) (両面) FP060NP-0473-1(1)・(2)・FP060NP-0420(1)・(2)	防火区画	ピンク	H12建築1436号三へ(1)
LSG + 石膏板E4 3枚張り (両面) FP060NP-0327-2(4)	防煙区画	ピンク	H12建築1436号三へ(2) 100㎡以下で防煙区画
LSG + 68-F t=21(片面) FP060NP-0516・FP060NP-0294-1	不燃区画	ピンク	H12建築1436号三へ(5) 100㎡以下で防煙区画
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防	防火設備: 法2条9号の2ロ、H12告1360号
LSG + 68-F t=21(21) (両面) H12建築基準法第1399号 LSG + 68-F t=12.5 + (68-R-H t=9.5) (両面) FP060NP-0473-1(1)・(2)・FP060NP-0420(1)・(2)	異種用途区画面積区画・縦穴区画	防特	常時閉鎖式特定防火設備: H12告1369号、S48年告示2563号、令112条19号第一号
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特s	常時閉鎖式特定防火設備 (遮煙): H12告1369号、S48年告示2564号、令112条19号第二号
LSG + 68-F t=21(21) (両面) H12建築基準法第1399号 LSG + 68-F t=12.5 + (68-R-H t=9.5) (両面) FP060NP-0473-1(1)・(2)・FP060NP-0420(1)・(2)	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特s	随時閉鎖式特定防火設備: H12告1369号、S48年告示2563号、令112条19号第一号
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特s	随時閉鎖式特定防火設備 (遮煙): H12告1369号、S48年告示2564号、令112条19号第二号
LSG + 68-F t=21(21) (両面) H12建築基準法第1399号 LSG + 68-F t=12.5 + (68-R-H t=9.5) (両面) FP060NP-0473-1(1)・(2)・FP060NP-0420(1)・(2)	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特s	常時閉鎖式・遮煙ILベ-カ乗り場T7認定番号 EV1: CAS-1072(2)、EV2: CAS-1074(2)
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	建令126の2のたし書き適用
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	屋外への出入口
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	代替出入口 (10m以内に1か所)
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	歩行距離: 50m/重複距離25m (避難階は倍)
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	歩行距離 (無居室): 30m/重複距離15m (避難階は倍)
RC壁	防火上主要な間仕切 (令114条)	防特EV	廊下幅: 両側居室2.3m、その他1.8m (児童用) / 両側居室1.6m、その他1.2m

工事名称	令和7年度 榎野小学校等複合施設新築工事 (機械設備工事)	設計番号	04732-010	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号
図面名	3階平面図 (参考図)	作成日	2026.03	一級建築士第289280号 前見 文武
設計者	佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	製図者	A1 S=1/150 A3 S=1/300	一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学
構造設計	一級建築士第329100号 瀧池 恒	設備設計	一級建築士第359849号 渡邊 森	設備設計一級建築士第4808号



符号	用途	寸法	数量	備考
根巻1	歩廊架台根巻	W600×D600×H1010	31	※構造図による
設備基礎R1	ケーブルラック用基礎	W600×D300×H900	3	
設備基礎R2	オイル配管用基礎	W600×D300×H950	2	
設備基礎R3	太陽光パネル架台用基礎	W600×D600×H750	20	架台は電気工事
設備基礎R4	オイル配管用基礎	W600×D300×H950	1	H形鋼 H200×100、L=900共
設備基礎R5	AHP基礎	W1300×D500×H950	2	H形鋼 H200×100、L=3300,1200 共
設備基礎R6	冷媒配管用基礎	W600×D300×H900	16	H形鋼 H200×100、L=900共
設備基礎R7	燃料小出槽用基礎	W400×D2500×H970	2	H形鋼 H200×100、L=2190共
設備基礎R8	ケーブルラック用基礎	W600×D300×H750	3	
H寸法はPHFLからのレベルを示す				
H型鋼は溶融亜鉛メッキとする				

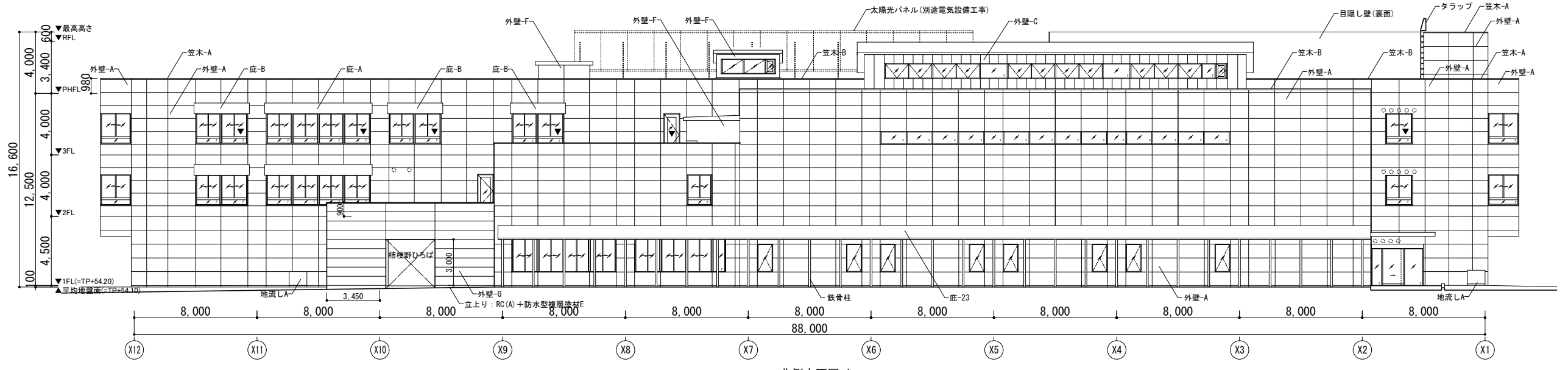
PH階平面図



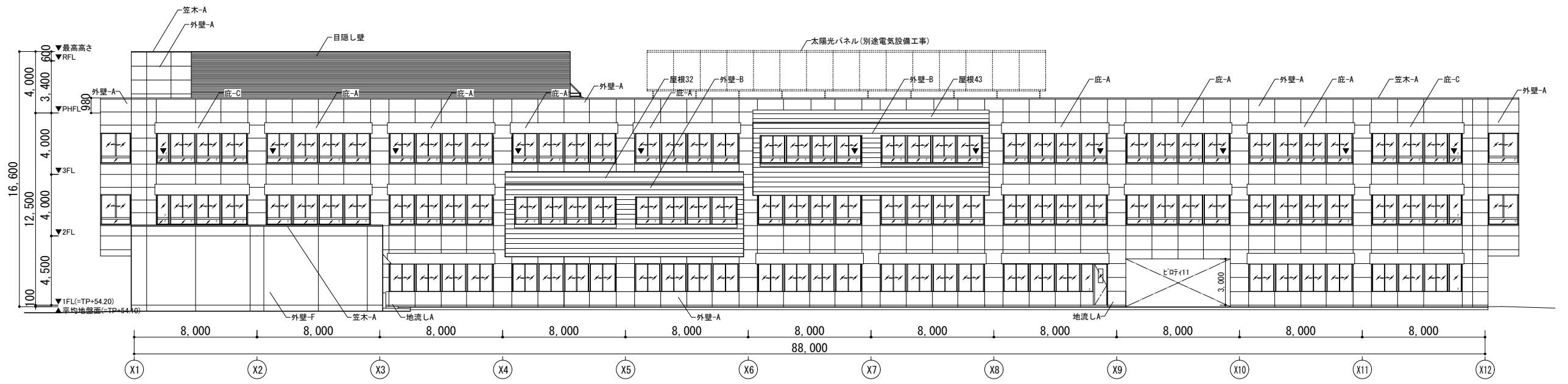
屋根伏図

○●○●	仕上レベル (FLより)	○	消火器ボックス (ボックスのみ建築工事)
■	屋内消火栓 (消火器ボックス併設) (別途設備工事)	○A	消火器ボックス (埋込型) (PH階:0ヶ所)
○A~H	アルミ笠木	○B	消火器ボックス (壁掛型) (PH階:1ヶ所)
		○C	消火器ボックス (壁掛型・屋外型) (PH階:1ヶ所)
		○T	縦樋 (特記以外は125Φ)
		○T(S)	縦樋 (鋼製) ※部分詳細図による
		◆RD	ルーフドレイン (特記以外は125Φ)
		◆RD(SUS)	融雪型SUS製ルーフドレイン (特記以外は125Φ)
		二二OF	オーバーフロー管 SUS50Φ

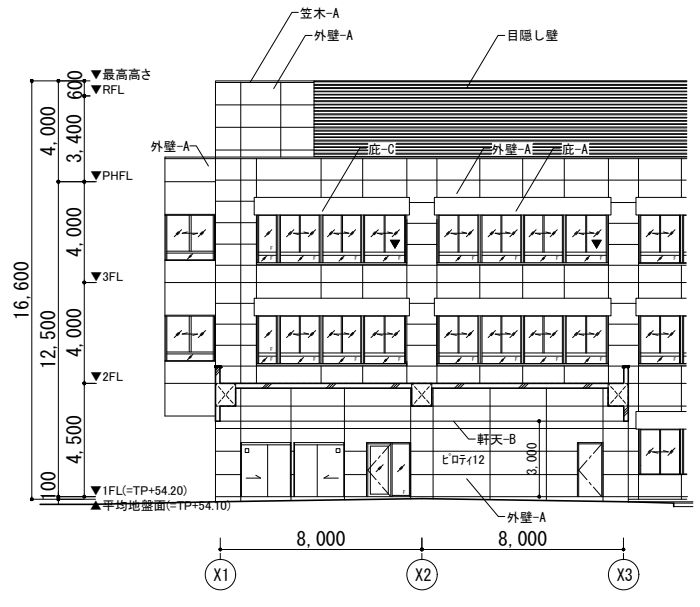
工事名称	令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事 (機械設備工事)	設計番号	04732-010	設計事務所	登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	図面番号	M-009
図面名	PH階・R階平面図 (参考図)	作成日	2026.03	総括	一級建築士第289280号 前見 文武	原図番号	一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学
設計者	佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	縮尺	A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造担当	一級建築士第329100号 蓮池 恒 構造設計一級建築士 第8796号	設備担当	一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士 第4808号



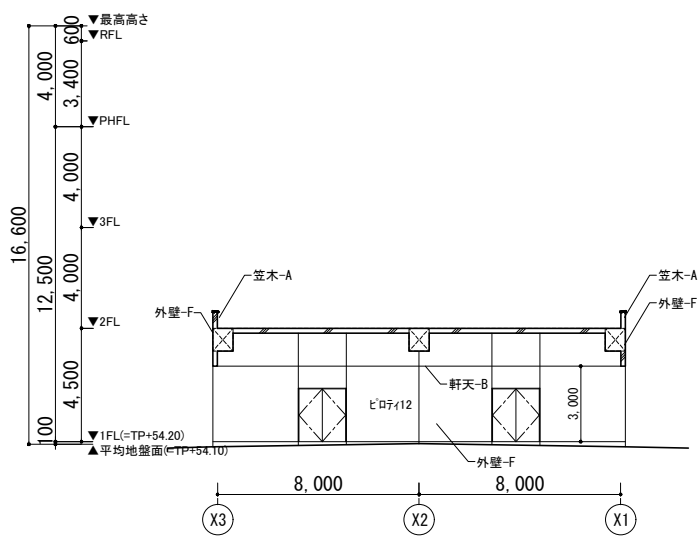
北側立面図-1



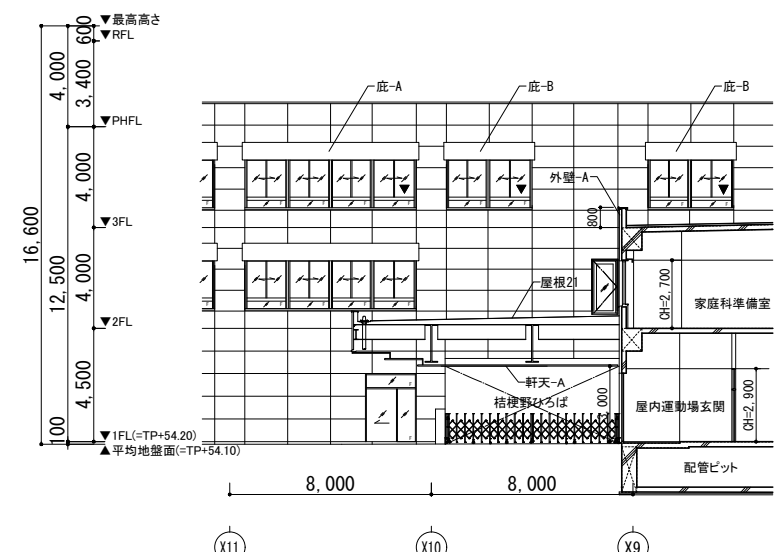
南側立面図-1



南側立面図-2

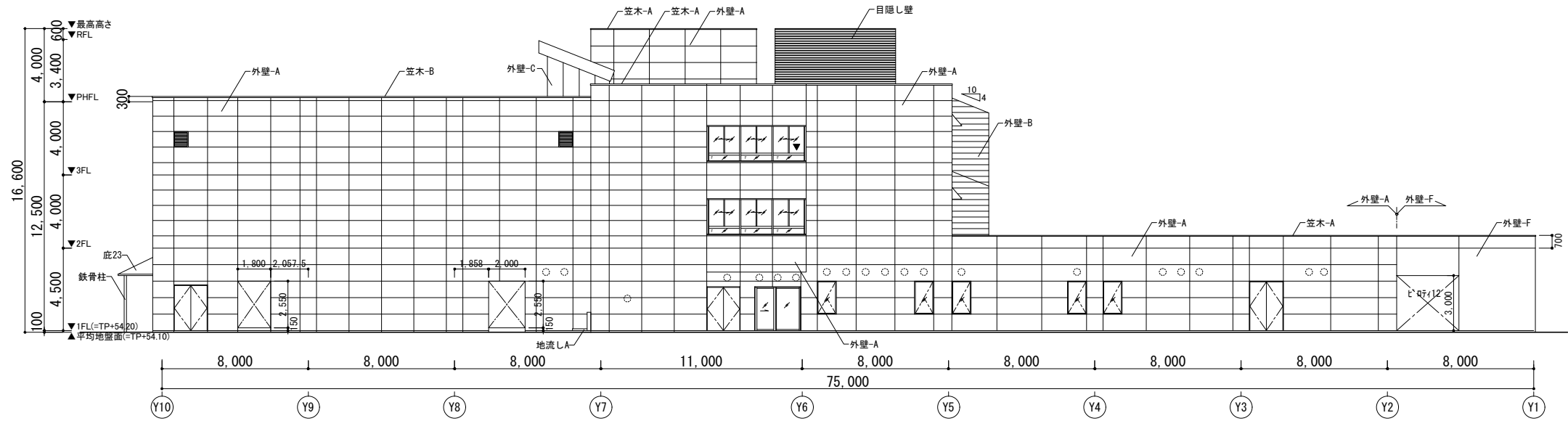


北側立面図-2

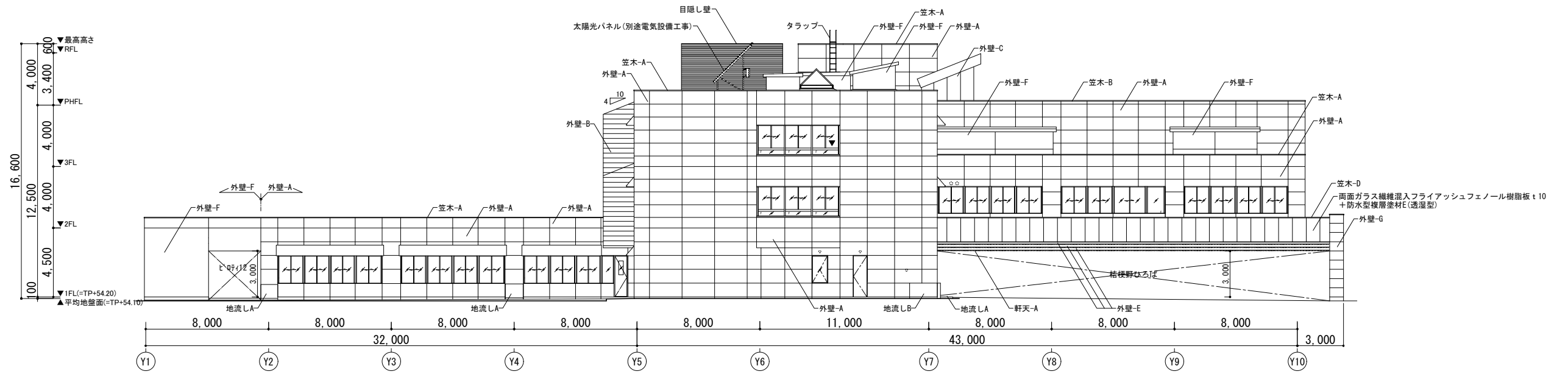


北側立面図-3

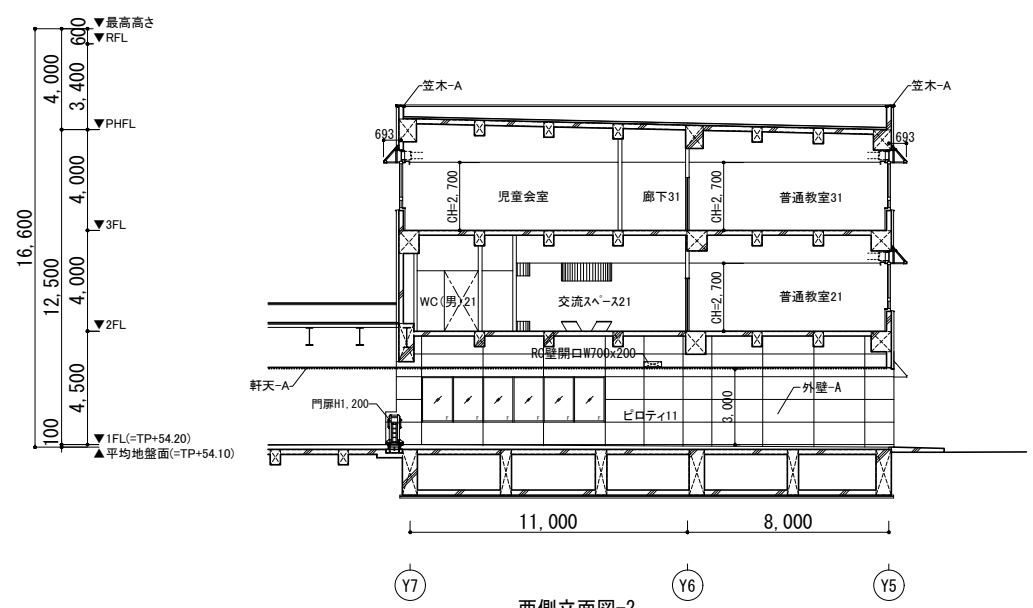
凡例	外壁-A RC+型枠兼用RC外断熱工法 EPS1号 t50+通気層 t5+両面ガラス繊維混入フライッシュフェノール樹脂板 t10+防水型複層塗材E	代替進入口	工事名称	令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号	04732-010	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	図面番号	M-010
	外壁-B RC+アスファルトルーフィング t1.0粘着タイプ+発泡ポリスチレン板 t=50+フッ素ガルバリウム鋼板 t.0.4横段葺き	○	ペントキャップ(別途機械設備工事)	図面名	立面図(1)(参考図)	作成日	2026.03	総括	一級建築士第289280号 前見 文武
外壁-C 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E							副専任	一級建築士第285433号 五十嵐 哲也	
外壁-E 鉄骨造+窯業系サイディング t16+防水型複層塗材E		※左記以外の仕上げは外部仕上表による					副専任	一級建築士第329587号 蟻塚 孝	
外壁-F コンクリート打放しB種+防水型複層塗材E							副専任	一級建築士第359849号	
外壁-G 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E							副専任	設備設計一級建築士第4808号 渡邊 森	
			施工者	佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	副専任	A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造設計一級建築士 第8796号	副専任	副専任



西側立面図-1

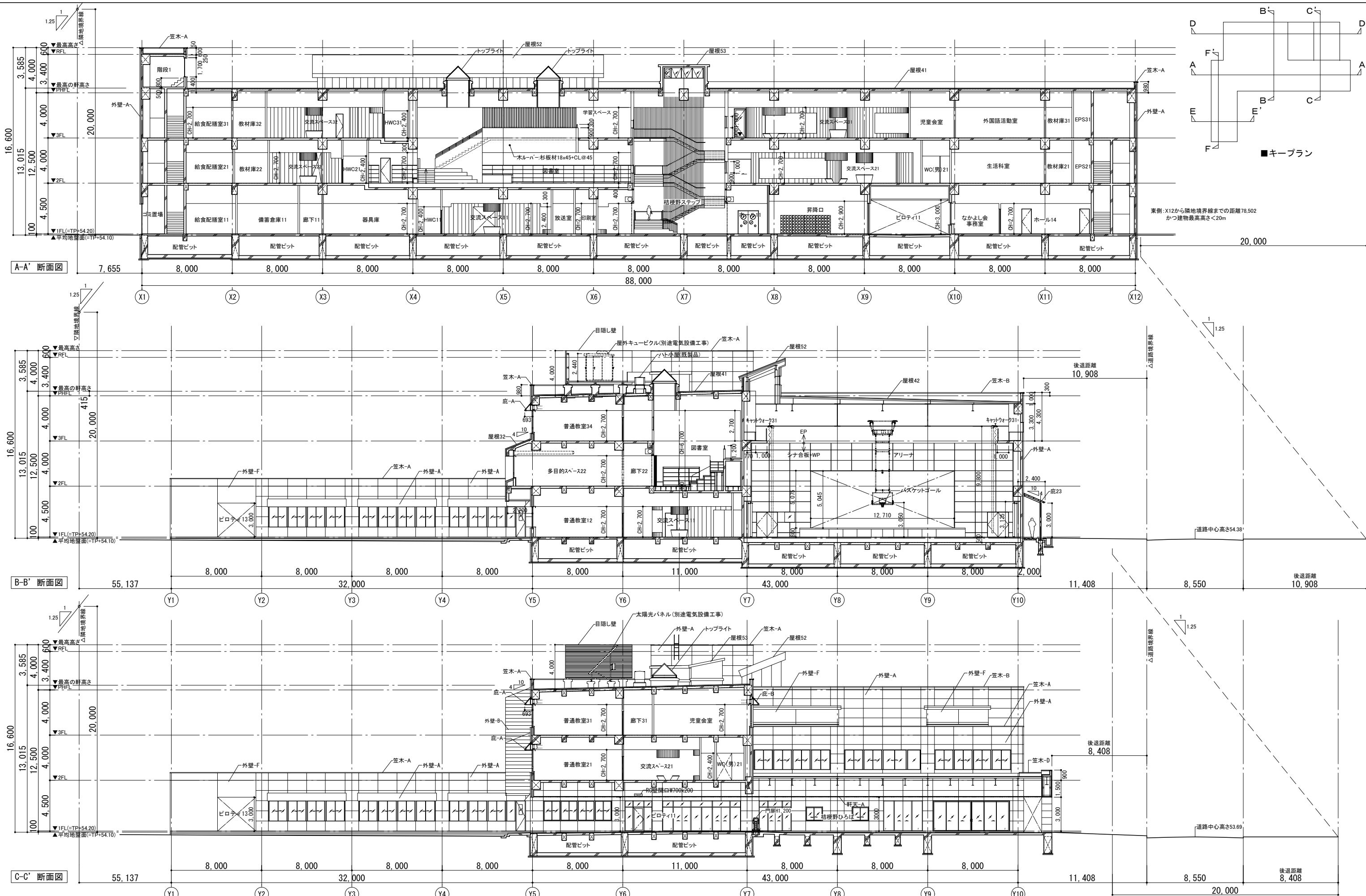


東側立面図

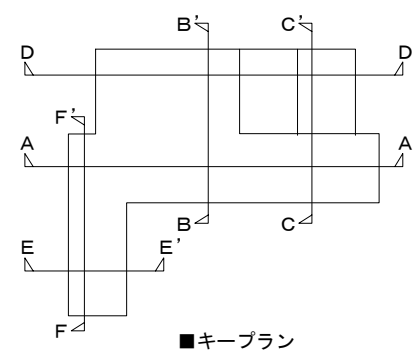
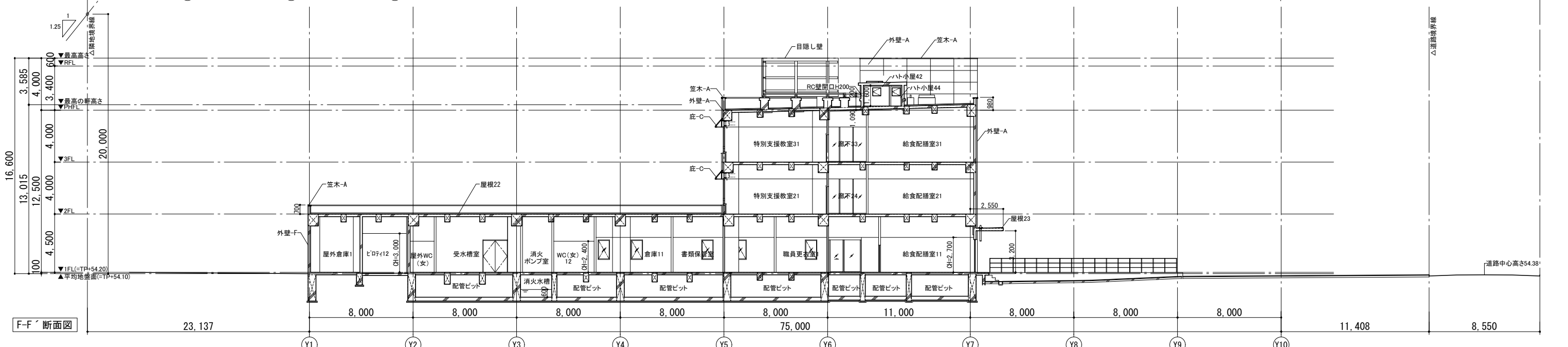
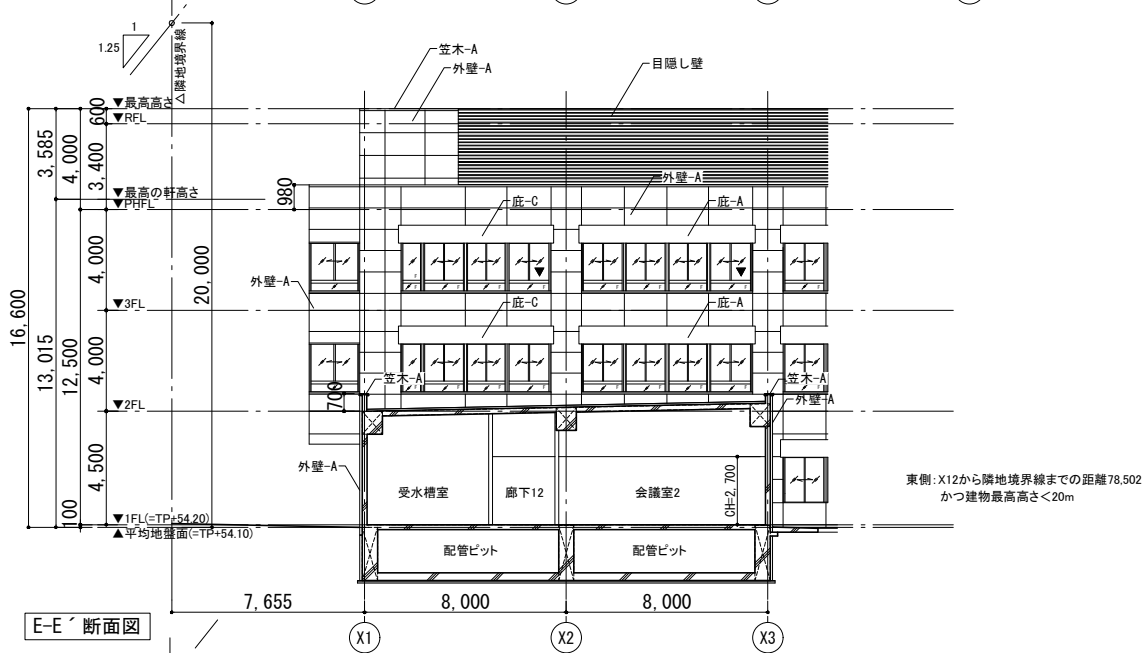
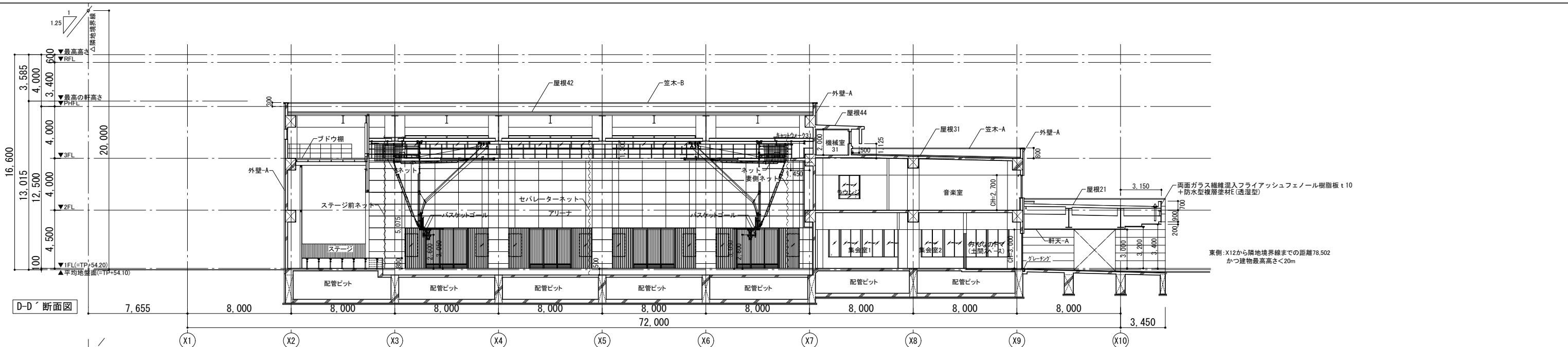


西側立面図-2

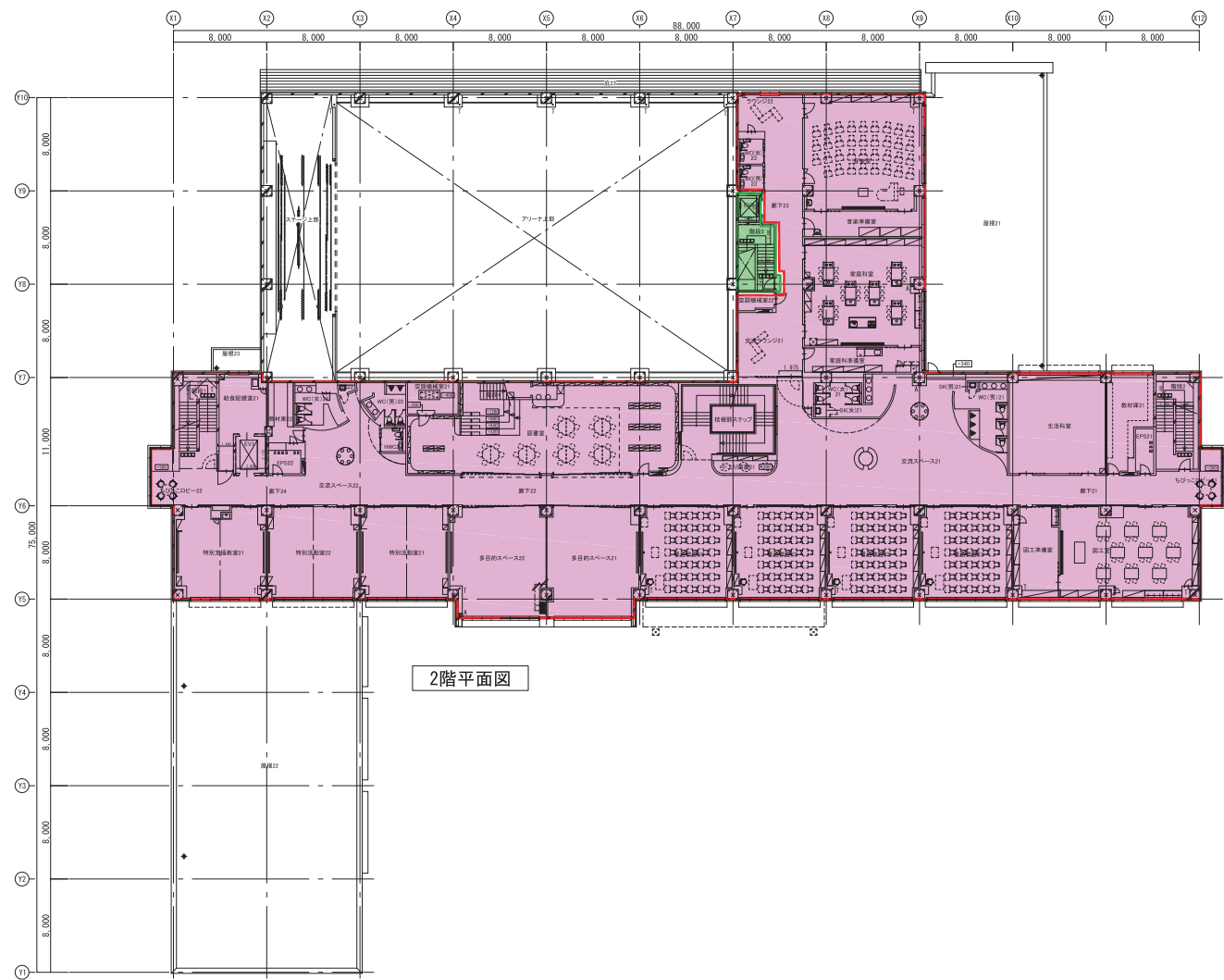
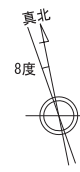
凡例	外壁-A RC+型枠兼用RC外断熱工法 EPS 1号 t50+通気層 t5+両面ガラス繊維混入フライアッシュフェノール樹脂板 t10+防水型複層塗材E	代替進入口	工事名称 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事 (機械設備工事)	設計番号 04732-010	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	図面番号 M-011
	外壁-B RC+アスファルトルーフィング t1.0粘着タイプ+発泡ポリスチレン板 t=50+フッ素ガルバリウム鋼板 t0.4横段葺き	ベントキャップ (別途機械設備工事)	図面名 立面図 (2) (参考図)	作成日 2026.03	総括 一級建築士 第289280号 前見 文武	
	外壁-C 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E	※左記以外の仕上げは外部仕上表による	設計者 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	製図 A1 S=1/150 A3 S=1/300	原図担当 一級建築士 第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士 第329587号 蟻塚 学	
	外壁-E 鉄骨造+窯業系サイディング t16+防水型複層塗材E			精査担当 一級建築士 第359849号 蓮池 恒 構造設計 一級建築士 第8796号	設備設計 一級建築士 第4808号 渡邊 森	
外壁-F コンクリート打放しB種+防水型複層塗材E						
外壁-G 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E						



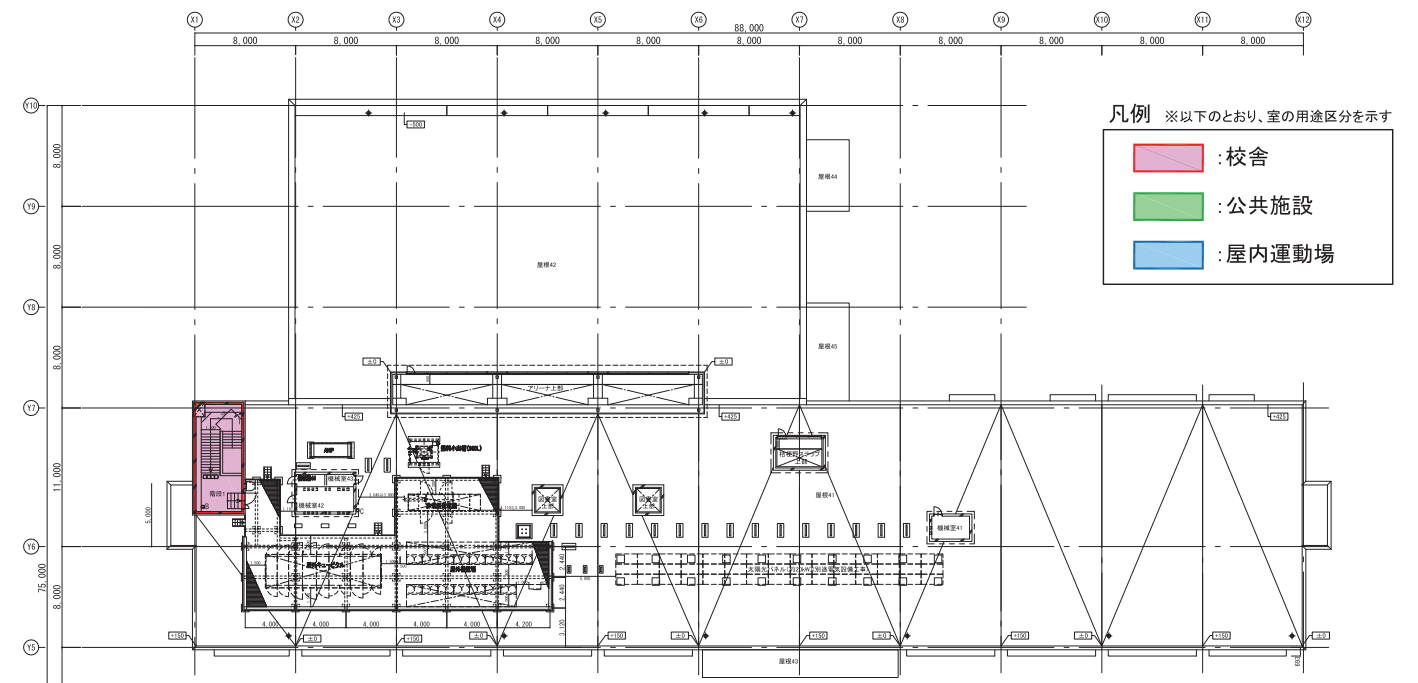
凡例	外壁-A 型替兼用RC外断熱工法 EPS 1号 t50+通気層 t5+両面ガラス繊維混入フライアッシュフェノール樹脂板 t10+防水型複層塗材E	代替進入口	工事名称 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号 04732-010	登録事務所 一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号	図面番号 M-012
	外壁-B RC+アスファルトルーフィング t1.0粘着タイプ+フッ素ガルバリウム鋼板 t0.4横段葺き		図面名 断面図 (1) (参考図)	作成日 2026.03	総括 一級建築士第289280号 前見 文武	原設計 一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 鎌塚 学
	外壁-C 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E	※左記以外の仕上げは外部仕上表による	設計者 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造担当 一級建築士第329100号 瀧池 恒 構造設計一級建築士 第8796号	設備担当 一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士第4808号
	外壁-D 特殊樹脂化粧型枠コンクリート仕上(木目調)+コンクリート保護塗装(A)クリア仕上げ					
外壁-E 窯業系サイディング t16+防水型複層塗材E						
外壁-F コンクリート打放しB種+防水型複層塗材E						



凡例	外壁-A 型枠兼用RC外断熱工法 EPS 1号 t50+通気層 t5+両面ガラス繊維混入フライアッシュフェノール樹脂板 t10+防水型複層塗材E	代替進入口	工事名称 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号 04732-010	登録事務所 一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第2210181号	図面番号 M-013
	外壁-B RC+アスファルトルーフィング t1.0粘着タイプ+フッ素ガルバリウム鋼板 t0.4横段葺き		図面名称 断面図(2)(参考図)	作成日 2026.03	設計者 一級建築士第289280号 前見 文武	監理者 一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学
	外壁-C 鉄骨造+押出成形セメント板 t60+防水型複層塗材E		※左記以外の仕上げは外部仕上表による	設計者 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体	監理者 一級建築士第329100号 瀧池 恒 構造設計一級建築士 第8796号	設備設計者 一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士第4808号
	外壁-D 特殊樹脂化粧型枠コンクリート仕上(木目調)+コンクリート保護塗装(A)クリア仕上げ					
外壁-E 窯業系サイディング t16+防水型複層塗材E						
外壁-F コンクリート打放しB種+防水型複層塗材E						

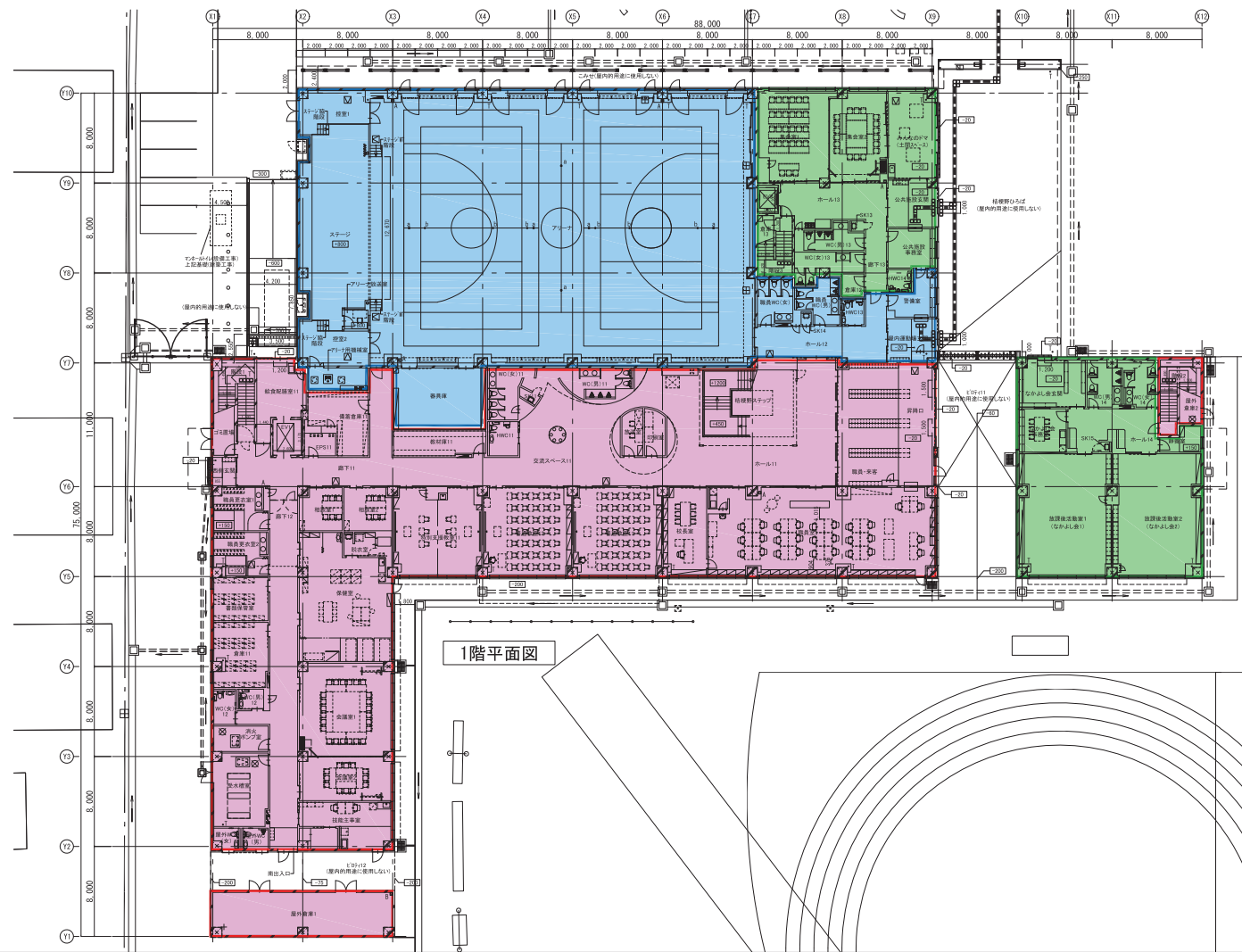


2階平面図

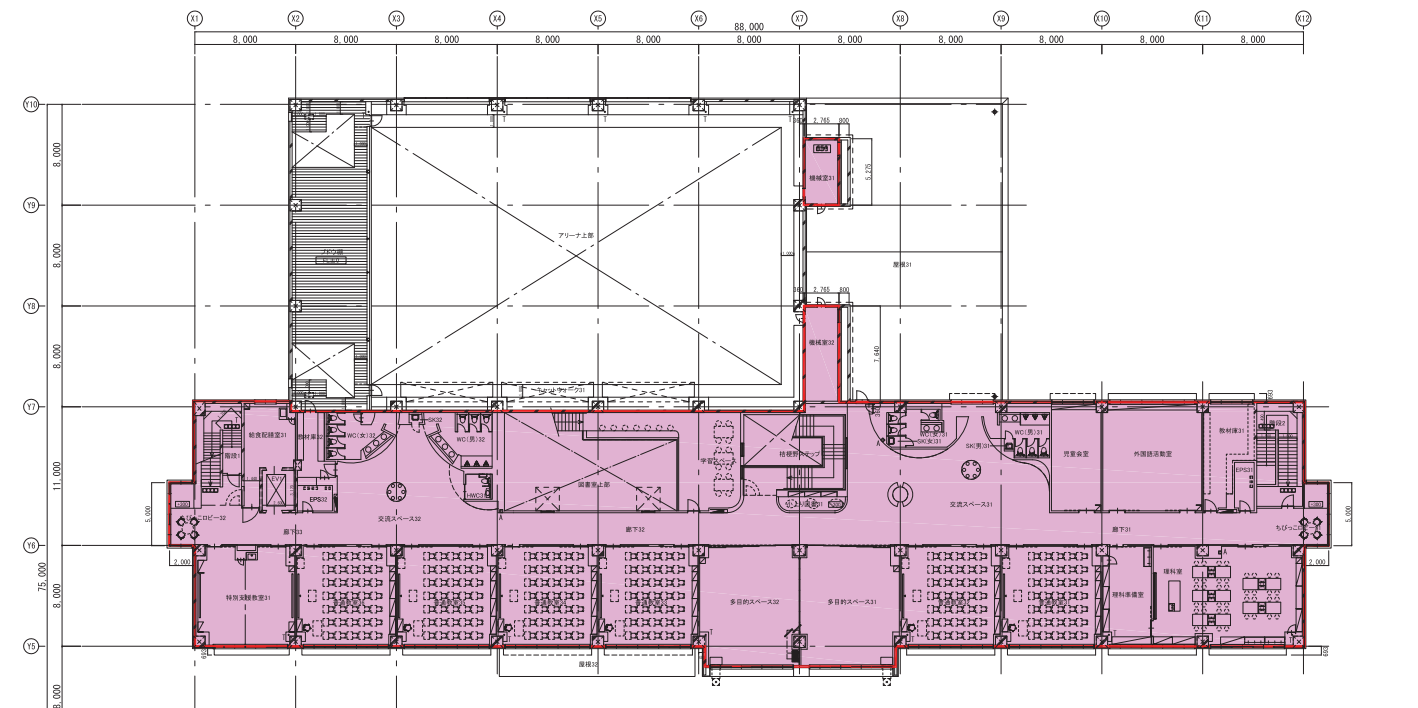


- 凡例 ※以下のとおり、室の用途区分を示す
- : 校舎
  - : 公共施設
  - : 屋内運動場

PH階平面図



1階平面図



3階平面図

工事名称 令和7年度 桔梗野小学校等複合施設新築工事(機械設備工事)	設計番号 04732-010	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第2210181号		図面番号 M-014
図面名 用途区分図(参考図)	作成日 2026.03	総括 一級建築士第289280号 前見 文武	責任者 一級建築士第285433号 五十嵐 哲也 一級建築士第329587号 蟻塚 学	
設計者 佐藤総合計画・蟻塚設計共同体		細尺 A1 S=1/300 A3 S=1/600	構造設計 一級建築士第329100号 蓮池 恒 構造設計一級建築士 第8796号	設備設計 一級建築士第359849号 渡邊 森 設備設計一級建築士第4808号